



サッカー部ドイツ修学旅行

『Danke schön!(ありがとうございます)』サッカー部員たちの元気な声が響きます。

2016年3月、京都両洋高等学校サッカー部は修学旅行として、初めてドイツへの海外遠征を行いました。空路12時間の航程です。高校生の間にサッカーの本場であるヨーロッパを体験してもらおうと考え準備していたことが、とうとう実現したのです。内容は綿密に計画され多岐に渡っています。その一部を紹介いたします。

横浜フリューゲルス、京都パープルサンガ、浦和レッズ、そしてモザンビークのナショナルチームの監督を歴任し、天皇杯5回優勝の経験を持つゲルト・エンゲルス氏の指揮のもと、スポーツシユレで小グループごとに分かれて、専門のコーチに指導していただきました。また地元ユースチームとの交流戦も行いました。交流戦の前に地元新聞社からの取材があり、全員での記念撮影がありました(表紙上写真)。開始時には『君が代』とヘッセン州の州歌が流され士気は最高潮に達しました。サッカーの楽しさ、素晴らしさを直に感じることであった瞬間でした。また、部員全員(2、3年生77名)でブンデスリーガ観戦をしました。ブンデスリーガはサッカー界において世界一の観客数を誇り、スタジアムの熱気にはすさまじいものがあります。それを直接感じることができました。今回は対戦カードにも恵まれ、途中出場を含め、日本人選手4人を見ることができました。



こうして駆け足で過ぎていった7日間でしたが、修学旅行としての学習も組み込んであります。フランクフルトからミュンヘンまでドイツを代表する高速列車ICEで移動しました。世界屈指の鉄道王国であるドイツのICEは乗客の乗り心地や利便性を考慮して造り上げられていました。そして、第二次大戦中に使用されていたダッハウ強制収容所を見学しました。いつもは陽気な部員たちも、強い衝撃を受けたようで真剣な眼差しで見入っていました。平和について考えた瞬間でした。ミュンヘン駅に戻る際には、BMW本社や間近で目にしたアリアンツ・アリーナの巨大さに驚きました。町並みも空気も光の量も日本とは全く違います。特に、5日目に訪れたマールブルクには、全世界から医学を志す人たちが集まる大学があり、古い街並みと相まって独特な雰囲気をかもし出していました。山の上には古城があり、大戦時に空爆を受けていない街並みはドイツの歴史そのものでした。ガイドブックにでも特集されれば一躍人気観光スポットになるでしょう。団長である蓮見監督がマールブルク市長に、本校のペナントと日本からのお土産を手渡しました。最終日には「もう最終日…」という言葉が聞かれました。

『百聞は一見に如かず』

言葉や写真だけではこの興奮は伝え切れません。次回は2018年3月を予定しています。皆さんも一緒に体験してみませんか？



「人」として、輝く未来へ。「新章両洋」スタート!

昨年度は本校にとって記念すべき創立100周年にあたる年度でした。

今年度からまた、新たな100年に向かって「新章両洋」をスタートしていくこととなります。

一人一人が人として輝き、これからの時代を切り拓けるように、学習・クラブをはじめとした様々な取り組みを一層充実させていきます。



平成27年度 第63回 卒業証書授与式



人として、輝く。100周年、そして未来

大学入試合格実績 (H26~H28)

国公立大
14名

京都大学	1名	愛媛大学	1名
大阪大学	1名	香川大学	1名
東北大学	1名	滋賀大学	4名
京都教育大学	1名	滋賀県立大学	1名
福岡教育大学	1名	信州大学	2名

難関私大
123名

早稲田大学	1名	関西大学	14名
慶応義塾大学	2名	同志社大学	18名
関西学院大	11名	立命館大学	57名
		他	20名

産佛龍近
レベル
507名

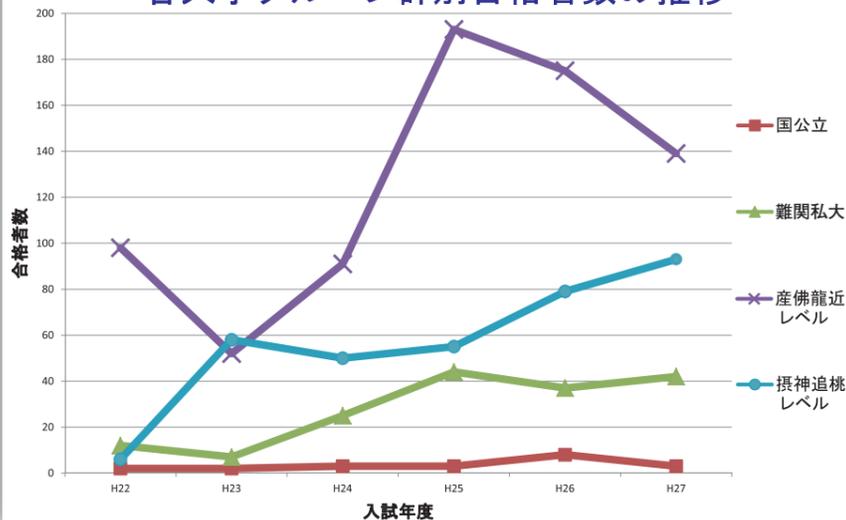
京都産業大学	135名	大阪経済大学	3名
佛教大学	139名	京都橘大学	22名
龍谷大学	108名	京都外国語大学	24名
近畿大学	27名	関西外国語大学	26名
		他	23名

摂神追桃
レベル
227名

摂南大学	14名	京都文教大学	18名
神戸学院大学	6名	大阪産業大学	34名
追手門学院大学	60名	大谷大学	52名
		他	43名

◆◆◆その他 329名 合格◆◆◆

各大学グループ群別合格者数の推移



- ◆ H25年はJ進学コースの第1期生の卒業年度。進学実績もその年を境に少しずつ向上しています。
- ◆ H28年からはK特進コースが新設され、またJ進学コースが改変されました。京都両洋高校は更なる高みを目指して飛躍していきたくと考えています。

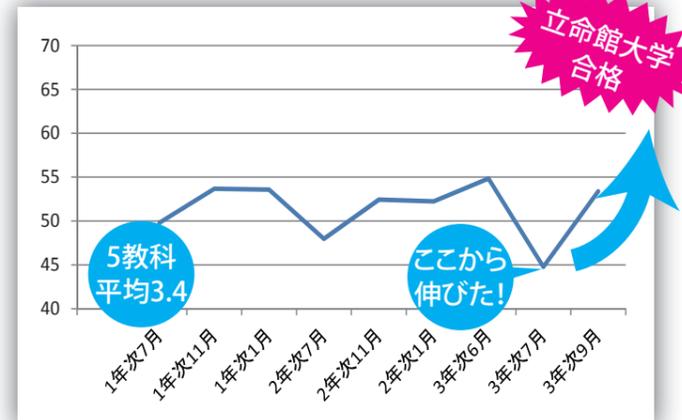
立命館大学 合格



J進学コース Kさん

私が京都両洋高校への入学を決めたのは、吹奏楽をやりたいからでした。練習は厳しくて、実力を高めることもできたのですが、他にもたくさんのことが学べたと思います。たとえば顧問の先生の「合奏場が綺麗だと上手になる」という言葉を聞いて、朝早く登校して合奏場の清掃を心がけました。第3期吹奏楽部長としてみんなの模範になれたかはわかりませんが、一生付き合っていけるような友だちができたと思います。

吹奏楽部を卒部したのは10月で、受験勉強はそこから始めました。志望校は立命館大学で、自分にとっては高い目標だったので、何度かくじけそうになりました。でも、支えてくれる先生方や、一緒に高め合える友だちがいて、負けない、という思いで乗り切ることができました。去年、立命館に合格したJ進学コースの吹奏楽部の先輩からもアドバイスを頂きました。「先生は積極的に活用した方がいい」という言葉を聞いて、朝早く他の生徒がいないうちに学校に来て、先生に添削指導をもらって、成績を受験直前に大きく伸ばすことができました。



●本校吹奏楽部の活動が朝日新聞(3月29日)に掲載されました。

以下はその内容を一部抜粋したものです。

魂の音色、吹奏楽と日舞の融合

3月11日、地方創生をテーマにしたシンポジウムにて、吹奏楽部「HERZ(ヘルツ)」が演奏した。

大河ドラマ『龍馬伝』のテーマ曲などを演奏しながら、幕末の志士を思わせる和装姿の部員が舞を披露。日本舞踊とマーチを融合させたステージで会場を魅了した。

『HERZ』はドイツ語で『心』を意味し、「魂の音楽を伝える」がモットーの吹奏楽部。

フルート奏者であり、日本舞踊のグループを率いた2年生の橋野のえるさんは「見せ場の舞とマーチの隊列の動きを呼応させるのが難しかった。こういう場を通して、吹奏楽部のことをたくさんの人に知ってほしい」と語る。

中学時代に演奏を聴いて入学を決めた2年生の部長、吉田未悠さんは「両洋の看板を背負うプレッシャーは感じるけれど、良い環境を与えられている。人に感動を与え、地域に愛されるバンドになりたい」と語る。



京都両洋の魅力を体感!

学校見学会

開催日: 6/18 (土)

時間: 10:00~12:30

場所: 京都両洋高等学校

内容: 吹奏楽部演奏、クラブ見学、コース説明、制服紹介、校舎見学、個別相談
備考: 参加希望者は本校webページよりお申し込みください。
連絡先: TEL: 075-841-2025、FAX: 075-841-0178、Email: japan@kyoto-ryoyo.ed.jp
ホームページ: www.kyoto-ryoyo.ed.jp

2016来て☆見て☆発見!私学フェアKYOTO

開催日: 6/12 (日)

時間: 10:00~16:00

場所: 京都市勧業館みやこめっせ

私学フェア会場に
当日この引換券をご持参下さい。
記念グッズをプレゼント!

記念グッズ
引換券